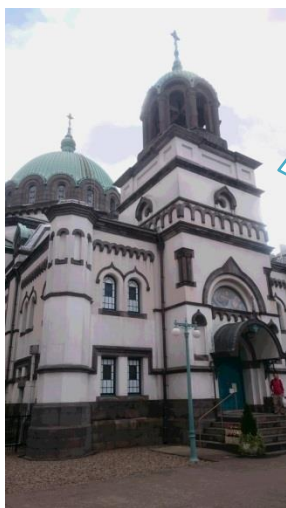


JAL メンテナンスサービス 羽田地区 秋のウォーキング実施報告

11月11日（土）ウォーキング開催当日は、お天気にも恵まれ暖かい日差しの中で参加者15名と健康づくり活動の一環として『羽田地区 秋のウォーキング 秋葉原～神田エリア』を実施いたしました。

朝9:45にJR秋葉原 電気街口集合。そこから、今はAKB劇場があったりで若者で賑わっている電気街を散策。御茶ノ水を通り、重要文化財でもある「東京復活大聖堂（別称：ニコライ堂）」を見学。残念ながら内覧は出来ませんでしたが、外からでもステンドグラスの綺麗な窓を見る事が出来ました。機会があれば内覧もしてみたいと思いました。



東京復活大聖堂は、国の重要文化財でありニコライ堂の愛称で親しまれています。

1992年には日本教会の本山である東京復活大聖堂の修復がフエオドシイ府主教の指導のもとに開始された。日本の重要文化財のほとんどが木造で、煉瓦造りの重要文化財のうち東京復活大聖堂は最古級であり、その後の煉瓦造りの文化財修復の嚆矢となったそうです。修復が始まる前の準備期間を入れるとおよそ9年が費やされ、修復によって見違えるようになった部分でまずは大聖堂の本堂と鐘楼の上に輝く十字架があげられるそうです。大聖堂の中のシャンデリヤは、明治時代のものの複製で今回新調されたとのこと。

つづいて、ニコライ堂からほど近い聖橋を渡り「史跡湯島聖堂」へ。

聖橋を渡った右側に森が現れその中に聖堂が現れます。また「日本の学校教育発祥の地」の掲示もありました。湯島聖堂は、元禄3年（1690年）五代将軍 徳川綱吉公が儒学の振興を図るため湯島の地に聖堂を創建して上野忍岡の林家私邸にあった廟殿と林家の家塾をここに移したのが始まりだそうです。



杏壇門



大成殿



孔子像

黒塗りのとても重厚感がある湯島聖堂でした。大成殿の大成とは孔子廟の正殿の名称だそうです。殿内には孔子の像をはじめ左右に孟子・顔子・曾子・子思の四賢人が祀られています。

湯島聖堂から神田明神へ。

晴天だった事もあり、この日は七五三詣で来られているご家族が大勢いてかなり賑わっていました。



さあ、あともう一息！！

神田明神からアーツ千代田 3331 へ。

アーツ千代田 3331 は、閉校した中学校を改修して文化芸術施設へと生まれ変わった建物だそうです。教室だったんだろうと思われる所が展示会場になっていました。

訪れた時は、香港の画家の方達の絵や本が展示されていました。

マンガ本などもありましたが、日本のマンガに見慣れているので、絵のタッチ、色使いなども違ってとても新鮮でした。

お天気にも恵まれ、今回は文化や歴史、芸術に触れ、文字通り“芸術の秋”を、堪能する事が出来、全員で全行程を完歩する事が出来ました。

途中の交差点に鯛焼き屋さんがあり、焼きたてあつあつの鯛焼きを参加者のみなさんと一緒に美味しく頂きました。歩いた後の甘いもの！最高でした！！